

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年 12月 11日 (日)

礼拝メッセージノート

「 神の愛は滞りなく示された～旧約預言とクリスマス 」

| アドベント② ダニエル書 9：25～26 小野寺 望 牧師

【 ダニエル書 9章 】

- 25 それゆえ、知れ。悟れ。 エルサレムを復興し、 再建せよとの命令が出てから、油注がれた者、君主が来るまでが七週。 そして苦しみの期間である六十二週の間、広場と堀が造り直される。
- 26 その六十二週の後、 油注がれた者は断たれ、彼には何も残らない。 次に来る君主の民が、都と聖所を破壊する。 その終わりには洪水が伴い、 戦いの終わりまで荒廃が定められている。

(4ページへ続く)

◆ はじめに

- 1.メシア降誕の時期は、旧約聖書で預言されていた。
 - ①預言を与えた神とメシアを地上に送られた神は同じである。
 - ②それは預言通り（神の計画通り）に起こった。
 - ③クリスマスは、神の約束が、計画通りに与えられた事実を喜ぶときである。
- 2.神はいつ、メシア到来のタイムテーブルを語ったか
 - ①ダニエルに対して語られた七十週の預言から、ある程度の時期が分かる。
 - * 終末までを包含した預言の一部が、メシアの初臨に関する記事。
 - * これはエルサレムに関して定められた七十週に及ぶ預言である。
 - ②この預言は、7週、62週、1週の3つに区分することができる。
 - * 因みに1週は7年を指す。（「週」と訳される原語は7を意味する）24節

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| キリストは神の愛の表れ

*このメッセージは、クリスマスを計画し、成就してくださった神を賛美するものである。



I 七十週の開始（25節a）

1.カウントダウンのスタートはいつか

- (1)「エルサレムを立て直せ」という命令が出てから
 - ①この箇所がどの勅令を指しているか、はっきりしない。
 - ②現存する聖書および歴史的記録をもとに、可能性を絞ることができる。
- (2) 4つの可能性 〈 時系列順に紹介 〉
 - ①前538年～536年に下されたクロスの勅令
 - * エルサレムの再建（イザ44：28、45：13）と神殿の再建（2歴36：22～23、エズ1：1～4、6：1～5）を命じた時。
 - ②前521年に下されたダリヨス（ダレイオス）・ヒスタスベスの勅令
 - * これはクロス王の勅令を再確認したもの（エズ6：6～12）
 - ③前458年にアルタシャスタ（アルタクセルクセス）がエスラに与えた勅令。
 - * 神殿での礼拝を滞りなく行う許可を与えたもの（エズ7：11～26）
 - ④前444年にアルタシャスタがネヘミヤに与えた勅令（ネヘ2：1～8）
 - * エルサレムの城壁再建に関する勅令である。
- (3) 有力な説は
 - ①上記の内、①クロスの勅令、もしくは④城壁再建の勅令のみが検討に値する。
 - ②少なくとも、前444年には七十週のカウントダウンは始まっている。

II 最初の六十九週（25節b）

1.第一期（7週）と第二期（62週）

- (1) 49年（7年×7）の間に広場と街路とをもって、建て直される。
- (2) 434年（7年×62）は第1期の直後に始まり、合計69週（483年）となる。
- (3) 69週が終わるときに、「メシアなるひとりの君」が来られる。
 - ①ダニエルは、メシア到来の時期について明確に語り、預言者の務めを果たした。
 - ②クリスマスの出来事は、ダニエルと、語られた預言の正しさも証明している。

III 六十九週と七十週目の間の出来事（26節）

1.第三期（70週）はすぐには始まらない。

- (1) 二期と三期の間には、3つの出来事が起こる。
 - ①「油注がれた者は断たれ、彼には何も残らない」
 - * 「断たれ」の原語は「殺される」の意味。モーセの律法で多用される。
 - * 「何も残らない」の意味は、a.「何もない」 b.「自分のためでない」参照イザ53：1～13
 - * そむきをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖う。それらは血による レビ17：11
 - ②やがて来るべき君主の民が町と聖所を破壊する。
 - * バビロン捕囚から70年で解放された民によりエルサレムは再建された。
 - * それ再び崩壊に陥る。これはローマによる紀元70年の崩壊。
 - ③その終わりまで戦いが続き、荒廃が定められている。
- (2) これらが七十週目を迎えるための前提である。
 - ①七十週目は、将来、反キリスト（荒らす者）の登場によって始まる。
 - ②メシアは最後に再び訪れる。反キリストは滅ぼされる。
 - ③この一連の預言は、エルサレムの回復とそれをなすメシアの預言である。

◆ まとめ：キリストは神の愛の表れ

1.七十週の預言はメシア来臨のタイムテーブルである。

2.キリストは実在し、クリスマスの出来事は神話やたとえでなく史実である。

3.それは旧約預言の成就であり、神の確かさの証明である。

4.神がおられることと、神の愛が示されていることは確かである。

5.聖地旅行から見たエルサレム